

第105回国立大学法人筑波技術大学経営協議会議事録

I 日 時 令和6年6月24日（月）14時00分～16時00分

II 場 所 大会議室、オンライン（Zoom）

III 出席者

- ・学外委員：石井靖乃、石野富志三郎、木村利男、小林武弘、齋藤佐和、竹下義樹、中村信一、村松隆、森戸久雄の各委員
- ・学内委員：石原保志（議長）、岩間光彦、四日市章、長島一道、谷貴幸、香田泰子、加藤伸子、加藤一夫、三好茂樹、嶋村幸仁の各委員

欠席者

- ・学外委員：川村恒明、安田咲登子の各委員
- ・学内委員：なし

陪席者

- ・鈴木瑞哉監事、鈴木浩監事

IV 議 事

議事に先立ち、議長から新任の委員について紹介があった。

1 前回議事録の確認について

議長から、資料1に基づき、第104回の議事録について説明があり、原案どおり確認された。

2 審議事項

(1) 大学機関別認証評価に係る自己評価書について

事務局から、資料2-1～2に基づき、大学機関別認証評価に係る自己評価書について説明があり、審議の結果、以下の意見を踏まえて加筆・修正することとした上で承認された。

（主な意見）

- ・本学が行っている合理的配慮について、自己評価書に加筆してはどうか。
- ・資料2-1の「2. 自己評価書（案）」の概要の中の「（2）領域2 内部質保証に関する基準」に記載されている、「～本学の学生支援の取組に対する卒業生アンケートにおける満足度の資料活用状況を記載する。」を、分かりやすい表現に改めてはどうか。

(2) 令和5事業年度決算について

事務局から、資料3-1～4に基づき、令和5事業年度決算について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(3) 令和7年度概算要求について

事務局から、資料4-1~3に基づき、令和7年度概算要求について説明があり、審議の結果、以下の意見を踏まえて加筆・修正することとした上で承認された。

(主な意見)

- ・資料4-1において、障害者差別解消法について触れるのであれば、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法についても触れてはどうか。

(4) その他

特になし。

3 報告事項

(1) 新学部の設置審に係る進捗状況について

議長及び香田委員から、資料5-1~3に基づき、新学部の設置審に係る進捗状況について報告があり、種々意見交換があった。

(主な意見)

- ・資料5-3の意見にある、「学部名（共生社会創成学部）と学位名称（学士（情報保障学））の関係性が分かりづらい」という点は、そのとおりだと思う。受験生に誤解を与えないという点が一番大事なので、ぜひ意識して広報してほしい。
- ・共生社会の創成と情報アクセシビリティの関係性についての言及が少ないのではないか。

(2) 保健科学部保健学科鍼灸学専攻の課題検討ワーキンググループの設置について

議長及び加藤（一）委員から、保健科学部保健学科鍼灸学専攻の課題検討ワーキンググループの設置について報告があり、種々意見交換があった。

(主な意見)

- ・現状分析はできてきたが、今後どうするかという方向性が見えてこない。いつ頃までにどんな作業をするなど、ロードマップを作成してほしい。

(3) 資金運用計画における長期運用債券について

事務局から、資料6に基づき、資金運用計画における長期運用債券について報告があった。

(4) 令和6年度入学者選抜実施状況（学部・大学院）について

事務局から、資料7-1~3に基づき、令和6年度入学者選抜実施状況（学部・大学院）について報告があった。

(5) 令和5年度卒業・修了生の進路状況について

事務局、加藤（伸）委員及び加藤（一）委員から、資料8-1~2に基づき、令和5年度卒業・修了生の進路状況について報告があった。

(6) 令和5年度国家試験合格状況について

加藤(一)委員から、資料9に基づき、令和5年度国家試験合格状況について報告があった。

(7) 令和6年度役付教職員について

事務局から、資料10に基づき、令和6年度役付教職員について報告があった。

(8) その他

○卒業後の相談対応について

- ・石野委員から、新型コロナウイルス感染症によるオンライン対応が長かったことで、就職して社会に出た際に苦労している卒業生もいると思われるため、卒業後も、卒業生からの相談対応を続けてほしい旨の意見があった。

○石野委員の退任について

- ・議長から、石野委員が全日本ろうあ連盟理事長を退任されたことに伴い、本協議会委員も後任の理事長へ引継ぐこととなったことについて説明があり、石野委員から退任の挨拶があった。

以 上